



朝霞第四小だより

《学校教育目標》

かしこい子
やさしい子
たくましい子

朝霞市立朝霞第四小学校

〒351-0015

朝霞市幸町1-6-9

TEL (461) 0363

E-Mail 4shou@asaka-c.ed.jp

発行責任者 校長 内田 隆

大掃除をしよう！

校長 内田 隆

本日で子供たちは、朝霞第四小学校での2学期の生活が終了しました。今学期も各ご家庭、地域の皆様のご協力により終業式を迎えることができましたこと、大変ありがたく感謝申し上げます。ありがとうございました。保護者の皆様には各担任から渡された‘あゆみ(通知表)’を確認していただき、お子さんの成長を話題として3学期、来年の目標につながるように話をさせていただければ幸いです。よろしく願いいたします。

子供たちは、明日から冬休みとなります。各学年だよりでもお伝えしている通り、冬休みには“家のお手伝いをしましょう”と呼び掛けています。日本では新しい年を迎えるためにいろいろな準備をします。この機会を使って子供たちに多様な経験を積ませてほしいのです。このことは日本の伝統文化を継承させることにもなります。何よりも子供たちはこれらの経験から非常にたくさんのお話を学ぶことができると考えられます。

貴重な経験の一つとして、ぜひ大掃除を手伝わせていただきたいです。その意義は生活の場を整理整頓、清潔にするだけでなく、多くのことを学び、心を磨くことにつながるからです。

学校での清掃活動を見ているとしっかりと行われているとは言えない状況があります。この点については、先日実施した学校評価保護者アンケートの自由記述欄で指摘いただいたご家庭もありました。今後、指導を重ねていかなければならない点です。ありがとうございました。

実際の場面では、ほうきや雑巾の使い方がぎこちない子がとても多いです。具体的にはほうきの握り方が違う、雑巾をしゃぶしゃぶするだけで汚れが落ちない、絞れないなどです。低学年児童にとっては力がなく十分に雑巾を絞れないこともあります。雑巾を絞るのではなくおにぎりを作るようになってしまっている子がいるくらいです。

家庭生活の中では、部屋のゴミは掃除機で吸い取ってしまう。汚れたところはペーパー等でふき取りゴミ箱へポイと捨ててしまう。確かにこの方法は衛生的であるのかもしれませんが。しかし何百人という人間が集団生活する場面で、このような処理をすることは大変難しいのが現状です。

家庭と学校という環境の違いを理解していただき、子供たちが自らきれいな環境を作り出し、学習環境を整えることができるように各家庭においても指導いただきたいと思っています。親子で掃除に取り組むことによって、道具の使い方を学び、効率的な手順を考え、協力して行うことの楽しさを感じ、お互いを認め合い、家族の在り方について考える良い機会になると確信しています。

清々しい気持ち
でよい年を迎えら
れることをお祈り
いたします。

子供が掃除をしていると近
所の方が声をかけてくれる。
これこそが地域の
教育力なのでしょう。

そういえば、
古着や古タオルで台布巾を作り、汚れると雑巾として床
を磨き、いよいよくたびれると油汚れを落としてから捨て
ていました。

子供の仕事といえば庭掃除や家の前の掃き掃除でした。

